

血液疾患センター初期研修カリキュラム（血液内科）

カリキュラム責任者： 麥谷 安津子

<一般目標 GIO: General Instructional Objective>

血液疾患の患者の診断・治療を通して、基本的な医学的知識・診療手技と血液疾患についての知識を習得する。また造血器腫瘍の治療を通して悪性腫瘍に対する薬物療法および臨床腫瘍学の基礎を修得する。

<行動目標 SBO: Specific Behavioral Objective>

悪性腫瘍および血液疾患の理解

- ・ 二次性貧血をふくむ各種の貧血を概説でき、鑑別診断ができる。
- ・ 白血球増加症および減少症を理解し、鑑別診断ができる。
- ・ リンパ節腫脹の原因を理解し、鑑別診断ができる。
- ・ 出血傾向を概説でき、鑑別診断ができる。
- ・ 悪性腫瘍の分子生物学、細胞遺伝学的知見を概説できる。

血液疾患に関連した検査の理解

- ・ 尿、末梢血液、血液生化学及び免疫学検査の適切な選択と結果の評価ができる * 1。
- ・ 末梢血液検査の血液像が評価できる。
- ・ 血液型検査・交差適合試験が実施できる。
- ・ 骨髄穿刺および骨髄生検を実施できる。
- ・ 骨髄の正常像を把握し、代表的な血液疾患の骨髄像を評価できる。
- ・ 腰椎穿刺を実施でき、検査結果を評価できる。
- ・ リンパ節生検検体の処理及び結果の評価ができる。
- ・ PET 検査 CT などの画像診断の評価ができる。
- ・ フローサイトメトリー、FISH、染色体検査、遺伝子検査の結果の評価ができる。

* 1

- ・ 造血と血球崩壊に関する物質：血清鉄、鉄結合能、血清フェリチン、ビタミン B12、葉酸、エリスロポエチン、ハプトグロビンなど
- ・ 血漿蛋白の定量および質的検査：免疫電気泳動法
- ・ 免疫血液学の諸検査：クームス試験、抗 HLA 抗体、PAIgG
- ・ 凝固検査：プロトロンビン時間、活性化部分トロンボプラスチン時間、トロンビン時間、フィブリノーゲン、FDP、D ダイマー

治療

- ・ 主な抗癌剤の薬理、投与法、副作用について述べることができる。
- ・ 抗腫瘍療法の支持療法について述べ、実施できる。
- ・ 抗腫瘍療法の支持療法について述べ、実施できる。
- ・ 輸血（全血、成分輸血、血液製剤、凝固因子濃縮製剤など）の適応、方法、副作用などについて述べることができる。
- ・ 抗癌剤の髄腔内注射ができる。
- ・ 中心静脈栄養ができる。
- ・ 無菌室を使った無菌支持療法ができる。
- ・ 手術、放射線治療、抗癌剤療法の適応を述べることができる。
- ・ 移植患者の全身放射線照射の方法を理解できる
- ・ 急性白血病、悪性リンパ腫の化学療法の概略を述べることができる。
- ・ 再生不良性貧血の治療法について述べることができる。
- ・ 鉄欠乏性貧血の原因追及・治療（経口・注射）ができる。
- ・ DIC のメカニズムを理解し、検査・治療ができる。

（疾患）

貧血

- A 1) 急性および慢性の出血性貧血
- A 2) 鉄欠乏性貧血
- A 3) 全身性疾患に併発する貧血
- B 4) 巨赤芽球性貧血
- B 5) 再生不良性貧血
- B 6) 溶血性貧血

白血球系の疾患

- B 1) 無顆粒球症

白血病

- B 1) 急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病
- B 2) 慢性骨髄性白血病 慢性リンパ性白血病
- B 3) 骨髄異形成症候群

悪性リンパ腫

- B 1) 非ホジキンリンパ腫

B 2) ホジキンリンパ腫

単クローン性蛋白血症

B 1) 多発性骨髄腫

出血性素因

B 1) 血小板減少性紫斑病

B 2) DIC

<方略 LS: Learning Strategies >

	月	火	水	木	金	土	日
午前	病棟診療	血液内科外 来 病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療骨 髄採取（移 植用）		
午後	14:30 移植カンフ ァランス	血液内科グ ループカン ァランス 入 院 患 者 症例検討	血液内科外 来 第4水曜 16:30 より 病理カンフ ァランス	骨髄像検討 会	入院患者診 療		
17時-				CPC (第2木曜)			

<研修評価 EV: Evaluation>

1. 自己評価

研修手帳、教育的行事の参加記録に記録する。EP0C2 に自己評価を行う。

2. 指導医による評価

PG-EP0C により研修医評価する

3. 看護師による評価

360 度評価表により研修医評価する